

消防署 富来田分署 消防だより

Vol.7 発行日:令和5年3月 発行者:消防署富来田分署 担当:鈴木・長野・栗原

〒292-0201 木更津市真里谷156 TEL・FAX0438-53-2160 e-mail: sho-fukuta@city.kisarazu.lg.jp

野外焼却行為についてのお願い

富来田地区のみなさまにおかれましては、日頃より消防にご協力賜り感謝申し上げます。

さて、消防では野外における焼却行為についての注意喚起を日頃からさせていただいているところではありますが、みなさまのご理解とご協力により、富来田地区における焼却行為による延焼の拡大等は今年度発生しておりません。一方、他県や他市では焼却行為の拡大により建物火災が発生してしまう事例が多発しています。当地区においても、巡回警備を行っている中で、消火用具を準備していない方や、火のそばに人がいないなどの行為が時折見受けられますので、今一度火災の危険性について十分に理解していただき、火災発生の防止に努めていただきたいと思います。

消防署では、「火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生おそれのある行為の届出書」を受け付けています。これは火の使用を許可するものではなく、消防署が実施状況を把握するために提出していただくものです。気象状況・煙・異臭による苦情や火災予防上不適切な行為は消防隊が現地にて対応させていただく場合がございます。

やむを得ず焼却行為を行う際は、事前に届出書を本署又は富来田分署に提出して下さい。

冬場に多発！寒暖差で起こるヒートショック

ヒートショックとは、気温の変化によって血圧が上下し、心臓や血管の疾患が起こることをいいます。この血圧の乱高下に伴って、脳内出血や大動脈解離、心筋梗塞、脳梗塞などの病気が起こることがあります。

冬場に暖房の効いたリビングから寒い脱衣所に移動し、浴槽に入るときなどに起こります。体は寒さに対応するために血圧を上昇させます。そこで衣服を脱ぎ、浴室へ入るとさらに血圧は上昇します。その後、浴槽に入ると急に体が温まるため、血圧が下降します。特に10℃以上の温度差がある場所は危険とされており、注意が必要です。

冬のお風呂場、トイレを暖かくしてヒートショックを防ごう！

- ①脱衣所やトイレを小型の暖房器で暖める
- ②お風呂場の床にスノコやマットを敷く
- ③シャワーで浴槽にお湯をためて浴室全体を暖める

※一人になる浴槽内は注意が必要です。入浴する前に家族に一声かけるように習慣づけましょう。



きさポン

消防署富来田分署の車両紹介

No. 1

車両名称：富来田水槽1

車両説明：600Lの水を積載している水槽付きポンプ自動車です。他の水槽付きポンプ自動車と比較すると、やや水槽が小さくなっています。この車両には「CAFS」という薬剤を使用して泡を作成することができるポンプを備えており、この機能により少量の水でも効果的に消火活動ができるようになっています。



No. 2

車両名称：富来田救急1

車両説明：日産エルグランドを艦装（ぎそう）した救急車です。他の救急車と比較して車内の空間が広いのが特徴です。車内にはAEDや心電図モニター、自動心臓マッサージ器などの救命に必要な資器材を積載しています。



No. 3

車両名称：富来田積載1

車両説明：小型の可搬式ポンプを積載している車両です。消防水利のない場所でも、小型ポンプを搬送して自然水利を活用し消火活動を行うことができます。また、車両が小型であることから、狹隘道路でも進入することができます。



消防署 富来田分署長 退職を控え一言ご挨拶

皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私事ではございますが、令和5年3月31日を持ちまして、42年勤めました木更津市消防署を定年退職することとなりました。生まれ育ち今もなお居住するこの地で、退職を迎えることができ光栄に思っています。

皆様方には在職中、消防行政にご理解とご協力をいただき大変ありがとうございました。また、今後も変わらず消防行政にご協力をいただけましたら幸いです。

富来田地区のご発展と、皆様方のご健勝をお祈り申し上げまして、退職のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

木更津市消防署 富来田分署長 鈴木宏幸

